



< 非暴力平和 > を語り合う会

世界各地に広がるテロと軍事力行使の悪循環に対して、武器を使わず、対立者間の和平交渉を支援する護衛的同行や紛争地情報を世界に向けて発信することなどで平和を創ろうとしている国際 NGO、< 非暴力平和隊 > (NP 本部事務局、ブラッセル) の活動をご紹介します。集まりを、下記の通り開催いたします。どなたでも、特に高校生もふくめた若い方々が、戦争と平和について、身近ないじめの問題などにつなげて考え、話し合っていたくための集まりです。

この 9 月末、アフリカ、ケニアの首都ナイロビで開催された NP 総会に出席した NP・日本のメンバーが、総会で話し合われた世界の紛争地での NP 活動状況と今後の方針をご報告いたします。これらをもとに、参加者みなで、日本と周辺北東アジア地域の状況、アフガニスタン、イラクへの日本の関わり方などにふれながら、< 非暴力平和 > について話し合う事にいたしましょう。

////////////////////////////////////

開催要綱

主催: 非暴力平和隊・日本(東京都文京区白山 1-31-9 <http://www5f.biglobe.ne.jp/~npj/>)

日時: 2007 年 11 月 17 日(土曜日)午後 1 時 30 分 4 時 30 分

場所: 「山口県教育会館」3 階第 4 研修室 <http://www3.ocn.ne.jp/~ykyoikuk/>

〒753 - 0072 山口市大手町 2 番 1 8 号

電話・FAX 083 - 922 - 5766 E-Mail : ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp

講師: 岡本三夫(広島修道大学名誉教授/平和学、岡本非暴力平和研究所長)

「NP ナイロビ総会報告; 暴力の現実に立ち向かう非暴力の理想」

阿木幸男(成蹊大学国際教育センター講師)

「イジメから民族紛争まで、どう繋がっているのだろうか? - 個人の暴力と集団、国家の暴力の関係について考えてみます」

大畑豊(非暴力平和隊・日本(NPJ)共同代表。元スリランカの平和活動メンバー)

「世界の紛争と私たち、そして憲法 9 条」

資料代: 500 円(大学生以下 無料)

問い合わせ先: 非暴力平和隊・日本会員 前田恵子

y-8maeda@c-able.ne.jp 携帯電話 090-3744-2101

講師略歴

・岡本三夫（おかもと みつお）

広島修道大学名誉教授（平和学）、岡本非暴力平和研究所長。栃木県生まれ。京都大学博士（文学、平和学）。最終学歴：（独）ハイデルベルク大博士課程。現在：NPO法人「世界ヒバクシャ展」理事長、日本平和教育協議会共同代表、第九条の会ヒロシマ世話人代表、核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表、日本友和会理事。元職：日本平和学会会長、第19期日本学術会議会員、広島平和教育研究所議長。（米）ハーヴァードロースクール人権研究所（フェロー）、（澳）欧州平和大、ザルツブルク大、（米）アリゾナ州立大、（英）セリオーク連合大、バーミンガム大などで客員・交換教授。

『平和学を創る 構想・歴史・課題』、Peace Studies in the Nuclear Age（英文）

『平和学 その軌跡と展開』、『暴走するアメリカの世紀』など著書・論文・翻訳多数。

「平和創造における制度化の比較研究」（共同研究）により「朝日学術奨励金」受賞。

HP: <http://www.okamotomitsuo.com/>

・阿木幸男（あき ゆきお）

成蹊大学国際教育センター講師。「国際協力 NGO の可能性」担当。河合塾コスモ（高卒認定コース）で「人間関係論ゼミ」担当。「非暴力平和隊」国際理事。「カンボジア教育支援基金＊東京」共同代表。これまでに訪問した外国は40カ国あまり。

9月末、ナイロビでの「非暴力平和隊」国際会議、総会（153名、46カ国）に参加。

・大畑豊（おおはた ゆたか）

非暴力平和隊・日本（NPJ）共同代表。

NPのモデルとなったNGO「ピース・ブリゲード・インターナショナル（PBI、国際平和旅団）」のボランティアとして93～94年スリランカへ派遣された。軍事費分の税金を不払いする「良心的軍事費拒否の会」運営委員。91年の湾岸戦争への90億ドル支出に対する裁判「90億ドル支出違憲訴訟・東京」原告・事務局。イラク派兵違憲訴訟原告・事務局。1963年生れ。